

第2章 トップランナープロジェクト(新築・既存、実績含む)の整理・情報共有

(1)サステナブル建築事例集について

標記の課題に対して、サステナブル建築企画部会・実行専門部会による進め方の基本的な検討、設計専門部会環境分科会による詳細検討を行い、「サステナブル建築事例集」を作成することとなった。事例集はサステナブル建築の設計・施工事例を会員各社から集めるものであり、一度の取りまとめに終わるのではなく、今後将来にわたって継続的な事例の蓄積、アップデートがなされるものとするを旨とした。会員各社から提供された事例は、原則として取捨選択を行わず、情報共有すること、また当協会ホームページ上で広く社会に公開することを前提とした。

募集の対象とした設計部会会員各社に対して発行した事例募集要項に、事例集の趣旨について次のように記している。

- ・単発の作品集ではなく、刻々変化する環境技術に対応し、今後も継続的に更新されるデータベースとしての事例集の構築を目指す。
- ・関連業界団体、ステークホルダーに対する最適なプレゼンテーションを可能にするため、事例の選別、組み換えができるように、「プロジェクト種別」「建物用途」の他に、環境配慮デザイン、省エネ・省CO2技術、各種制度活用、評価技術・フィードバック等の「選定の観点(カテゴリー)」、「主要な採用技術(CASBEE中項目に準拠)」等について、分類・検索のためのキーワードを設定した。
- ・計画・設計段階における環境への配慮のみならず、それを実現するための技術開発や施工段階での取り組み、竣工後の検証などを含む。
- ・蓄積しつつある省エネ調査の公開データが数値、グラフ中心であるのに対し、事例集はビジュアル情報も提供するものとする。

(2)事例の募集について

エントリーのための調査票、事例シート等の様式案の詳細検討、準備を行い、事例の募集を、次の2段階に分けて行った。

①一次エントリー

平成21年12月2日～平成22年1月22日

会員各社が、エントリーのための調査票を用いて、事例の概要情報を提出した。個々の事例の調査票で、「選定の観点」をA～Kの11種のカテゴリーから、「主要な採用技術」をリスト上の16項目から選択するようにした。

一次エントリーの結果、会員18社が合計106件の事例についてエントリーを行った。

②事例シート作成・提出

平成22年2月4日～平成22年3月15日

会員各社が、エントリーしたそれぞれの事例について、事例シートの作成を行った。

次ページ以降に、エントリーされた 106 件の事例のうち以下 5 件のエントリー調査票を、例として示す。(無作為抽出、会社名あいうえお順)

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ・奥村記念館 | (株)奥村組 |
| ・タクボエンジニアリング東金テクニカルセンター | 清水建設(株) |
| ・芝浦工業大学芝浦キャンパス | 戸田建設(株) |
| ・アクア フォレスタ・ルネ稲毛 | (株)長谷工コーポレーション |
| ・ららぽーと柏の葉 | 三井住友建設(株) |

上記 5 例についても、「選定の観点」の категорияは、環境配慮デザイン、長寿命化、省エネ・省 CO2、評価技術・フィードバック、周辺・地域への配慮、生物多様性、生産・施工との連携等、多岐にわたるものとなっている。

資料として、エントリー事例 106 件のリスト、分類・検索用キーワードリスト、事例シート作成要領を示す。

(3)事例の取りまとめ、公表について

作成された事例シートを取りまとめ、平成 22 年度に当協会ホームページで公表する予定である。

サステナブル建築事例集 調査票

| | | | | |
|------------------|--|---------|---|--|
| 設計会社名 | 株式会社奥村組西日本支社一級建築士事務所 | | 設計会社毎に記入(例)A社-01 | |
| 建物名称 | 奥村記念館 | | No. 奥村組-01 | |
| プロジェクト種別 | 該当項目に○ 新築/改修/保存/まちづくり/仮設建築/外構/景観 | | | |
| 建物用途 | 該当項目に○(複数選択可) 事務所/研究所/美術館/博物館/学校/病院/工場/物流/物販/飲食/ホテル/集会場/集合住宅/その他 | | | |
| 選定の観点(カテゴリー) | 分類・検索のキーワード参照のうえ、該当項目に○(複数選択可) A環境配慮デザイン/B省エネ・省CO2/C各種制度活用/D評価技術・FB/Eリニューアル/F長寿命化 G建物基本性能確保/H生産・施工との連携/I周辺・地域への配慮/J生物多様性/Kその他 | | | |
| 主要な採用技術 | 分類・検索のキーワード参照のうえ、キーワードと()内には具体的な採用技術を記入(6項目まで) (例)LR1_2_自然エネルギー利用(太陽光発電) ①Q2.2 耐用性・信頼性(免震構造、膨張材混入コンクリートによるひび割れ防止) ②Q2.3 対応性・更新性(メンテナンスピット) ③Q3.2 まちなみ・景観への配慮(瓦・焼杉・漆喰の外装材、第13回奈良県景観調和デザイン賞「知事賞」受賞) ④Q3.3 地域性・アメニティーへの配慮(観光案内所および休憩所を併設し一般開放) ⑤LR1_1 建物の熱負荷抑制(庇の深い外装、プリントフィルムによるガラス面の熱負荷低減、木製ルーバー) ⑥LR1_3 設備システムの高効率化(置換空調、パッシブリスティング空調、氷蓄熱) | | | |
| 環境配慮の概要および建物写真・等 | 環境配慮の概要について、簡潔な文章と写真等で説明 「春日山歴史的風土特別保存地区」という周辺環境に対し、軒の深い勾配屋根や縦格子のデザイン、焼杉・瓦・漆喰という日本古来の素材による外装により、古都の景観に溶け込むよう配慮するとともに熱負荷の軽減を図っている。また、観光案内所や休憩所を併設した公共性の高い施設であり、高い安全性を確保するため免震構造を採用している。設備面では置換空調とパッシブリスティング空調方式を採用、熱源は深夜電力利用の氷蓄熱ビルマルチ方式を採用することで省エネルギー、快適性に配慮している。 | | | |
| |  <p>外観</p> | |  <p>内観</p> | |
| |  <p>概念図</p> | | | |
| 発注者 | 株式会社奥村組 | 敷地面積 | 778.38 m ² | |
| 設計・監理 | 株式会社奥村組西日本支社一級建築士事務所 (共同設計) | 延床面積 | 549.90 m ² | |
| | | 構造/階数 | RC造/地下1階、地上2階 | |
| 施工 | 株式会社奥村組 | CASBEE | Oランク BEE=O. O | |
| 所在地 | 奈良県奈良市 | PAL削減 | OO % | |
| 竣工年 | 2007年 | ERR | OO % | |
| | | LCGO2削減 | OO % | |

* 建物名称、発注者、所在地 は、略称表記も可(例Aビル、B社、神奈川県C市)

サステナブル建築事例集 調査票

| | | | |
|------------------|---|------------------|--------------------------|
| 設計会社名 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 | 設計会社毎に記入(例)A社-01 | |
| 建物名称 | タクボエンジニアリング東金テクニカルセンター | No. 清水建設-01 | |
| プロジェクト種別 | 該当項目に○ 新築/改修・保存/まちづくり/仮設建築/外構・景観 | | |
| 建物用途 | 該当項目に○(複数選択可) 事務所/研究所/美術館・博物館/学校/病院/工場・物流/物販/飲食/ホテル/集会場/集合住宅/その他 | | |
| 選定の観点(カテゴリー) | 分類・検索のキーワード参照のうえ、該当項目に○(複数選択可) A_環境配慮デザイン/B_省エネ・省CO2/C_各種制度活用/D_評価技術・FB/E_リニューアブル/F_長寿命化 G_建物基本性能確保/H_生産・施工との連携/I_周辺・地域への配慮/J_生物多様性/K_その他 | | |
| 主要な採用技術 | 分類・検索のキーワード参照のうえ、キーワードと()内には具体的な採用技術を記入(6項目まで) (例)LR1_2_自然エネルギー利用(太陽光発電) ①Q2_3_対応性・更新性(荷重のゆとり、スケルトン&インフィル) ②Q3_2_まちなみ・景観への配慮(周辺の風環境を活かす、緑地の保全、新たなシンボルの形成) ③LR1_1_建物の熱負荷抑制(表面積の少ない楕円形状の外皮) ④LR1_2_自然エネルギー利用(自然換気、自然採光、太陽光発電) ⑤LR1_3_設備システムの高効率化(全面床吹出し空調、蒸気レス塗装用空調システム) ⑥LR3_1_地球温暖化への配慮(LCCO2削減) | | |
| 環境配慮の概要および建物写真・等 | 環境配慮の概要について、簡潔な文章と写真等で説明 建築主は塗装システムの開発・設計・工を国内外に展開するトップエンジニアリングカンパニーである。 環境問題と常に向き合ってきた企業の開発センターとして建設された・(建物は、同社の強い環境理念とその取組みを内外に発信できるよう、「環境負荷削減を目に見える形として具現化するデザイン」をコンセプトとして計画した。 外皮温熱負荷削減も意図した独創的な曲面形状の外観、スケルトン事務室に自然通風換気・自然採光機能が調和した空間デザイン、視覚・風・光のつながりを兼ねた工場吹抜など、建築と設備が一体となり、居住者にとって分かりやすく、使い勝手の良い建築を目指した。 結果、年間消費エネルギー量実績は、一般事務所ビルをベンチマークとしたときのCO2排出量削減比50%を達成した。 | | |
| |  <p>南側外観</p>  <p>工場エリア中央に配された吹抜けを中心に各階が繋がっており、階段の一体感を高めるとともに、光、風の経路となっている。</p>  <p>事務室</p> | | |
| 発注者 | タクボエンジニアリング株式会社 | 敷地面積 | 12,067.99 m ² |
| 設計・監理 | 清水建設株式会社一級建築士事務所 (共同設計) | 延床面積 | 3,969.87 m ² |
| | | 構造/階数 | S造/地上2階 |
| 施工 | 清水建設株式会社 | CASBEE | Sランク BEE=3.8 |
| 所在地 | 千葉県東金市 | PAL削減 | 30 % |
| 竣工年 | 2006年 | ERR | % |
| | | LCCO2削減 | 50 % |

*建物名称、発注者、所在地 は、略称表記も可(例)Aビル、B社、神奈川県C市

サステナブル建築事例集 調査票

| | | | |
|--------------------------|--|--|---|
| 設計会社名 | 戸田建設株式会社一級建築士事務所 | | 設計会社毎に記入(例)A社-01 No. 戸田建設-02 |
| 建物名称 | 芝浦工業大学芝浦キャンパス | | |
| プロジェクト種別 | 該当項目に○ (新築) 改修・保存 / まちづくり / 仮設建築 / 外構・景観 | | |
| 建物用途 | 該当項目に○(複数選択可) 事務所 / 研究所 / 美術館・博物館 / (学校) / 病院 / 工場・物流 / 物販 / 飲食 / ホテル / 集会場 / 集合住宅 / その他 | | |
| 選定の観点 (カテゴリー) | 分類・検索のキーワード参照のうえ、該当項目に○(複数選択可) A 環境配慮デザイン / (B 省エネ・省CO2 / C 各種制度活用 / D 評価技術・FB / E リニューアル) / (F 長寿命化 G 建物基本性能確保 / H 生産・施工との連携 / I 周辺・地域への配慮) / (J 生物多様性 / K その他) | | |
| 主要な採用技術 | 分類・検索のキーワード参照のうえ、キーワードと()内には具体的な採用技術を記入(6項目まで) (例)LR1_2.自然エネルギー利用(太陽光発電) ①Q2.3.対応性・更新性(メンテナンスバルコニー) ②Q3.1.生物環境の保全と創出(外構緑化) ③Q3.2.まちなみ・景観への配慮(外壁後退、芝浦工大の歴史性の継承) ④LR1.1.建物の熱負荷抑制(ルーバー、階段頂部の自動制御換気窓) ⑤LR1.3.設備システムの高効率化(高効率ヒートポンプ空調個別運転制御、給水ポンプのインバータ制御) ⑥LR2.1.水資源保護(便所衛生器具への節水型器具の採用、便所洗浄水への雨水、空調ドレン水、加湿残水の利用) | | |
| 環境配慮の概要 および 建物写真・等 | <p>環境配慮の概要について、簡潔な文章と写真等で説明</p> <p>かつては芝浦工大の芝浦キャンパスとして利用されていた3街区に跨るエリアを再開発し、2009年に完成した「芝浦 RENASITE(ルネサイト)」の一街区に位置する建物である。開発にあたっては3街区全体で一体的な外部環境の創出を行った。具体的には各建物の外壁を境界線から後退させて誰もが入れる空地を確保した。その空地は隣接する運河へと連続している。更に空地を積極的に緑化し、埋立地のために緑の少ない芝浦に、豊かな緑地を生み出した。建物については工学系大学であるので「環境」や「サステナビリティ」をキーワードに設計を行った。外観上の最大の特徴は東西南北の4面全てに設置したルーバーである。日射の遮蔽や近隣建物との間の視線制御を狙ったこのルーバーは、耐久性や将来の交換を考慮して、既製品である高耐食溶融メッキ仕上の有孔鋼板を利用している。ちなみにこのルーバーの内側には各階毎にメンテナンスバルコニーが設けられている。設備計画では、エコキャンパス実現の為に、省エネルギー、省資源、省メンテナンスという3つのキーワードを掲げ、様々な取組みを行った。研究室・教室ゾーンは全熱交換器を設置し、その排気を中廊下へ排出して各階東西面にあるDSのガラリより外部へ排気する方式としている。この方式で全熱交換器からの排熱を2次利用し、中廊下、共用部の空調動力費の削減、省エネルギーにつなげている。また各階中廊下と建物の両サイドにある階段室とを一体の空間とし、階段頂部に自動制御換気窓を設けることにより、自然風の通り道とし、排熱している。自動制御換気窓は主として中間期の換気を目的としており、外気温度、雨、室内温度などの諸条件により自動で窓を開閉するものである。衛生関連では、水資源の有効利用の為に、雨水利用を行っている。屋根面から集水した雨水を地下ピットの貯留槽で受けて、ろ過、滅菌し、便所洗浄水として使用している。省メンテナンスでは、設備縦動線計画として、西側、東側、水廻り用の3系統のシャフトを各階同じ位置に確保し、メンテナンス性を高め、将来の更新にも配慮した計画としている。照明計画では、Hf 蛍光灯初期照度補正制御、昼光利用制御、人感センサー制御を各所に採用し、使用ランプは原則として寿命1万時間以上の長寿命型で計画した。さらに施設管理室の照明制御盤による集中管理方式を採用した。屋上広場にはソーラー型庭園灯を設置し、環境に配慮した計画としている。</p> | | |
| |  |  |  |
| | 全景 | ルーバー ディテール | 外構 |
| 発注者 | 学校法人 芝浦工業大学 | 敷地面積 | 2,624.50 m ² |
| 設計・監理 | 戸田建設株式会社一級建築士事務所 (共同設計) | 延床面積 | 12,637.07 m ² |
| | | 構造/階数 | SRC造、S造、一部RC造/地下1階、地上8階 |
| 施工 | 戸田建設株式会社 | CASBEE | ○ランク BEE=○.○ |
| 所在地 | 東京都港区 | PAL削減 | ○○ % |
| 竣工年 | 2009年 | ERR | ○○ % |
| | | LCCO2削減 | ○○ % |

*建物名称、発注者、所在地 は、略称表記も可(例Aビル、B社、神奈川県C市)

サステナブル建築事例集 調査票

| | | | | |
|--------------------|--|---------|---|--|
| 設計会社名 | 株式会社 長谷エコーポレーション エンジニアリング事業部 | | 設計会社毎に記入(例)A社-01 | |
| 建物名称 | アクア フォレスタ・ルネ稲毛 | | No. 長谷工-07 | |
| プロジェクト種別 | 該当項目に○ 新築/改修・保存/まちづくり/仮設建築/外構・景観 | | | |
| 建物用途 | 該当項目に○(複数選択可) 事務所/研究所/美術館・博物館/学校/病院/工場・物流/物販/飲食/ホテル/集会場/集合住宅/その他 | | | |
| 選定の観点 (カテゴリー) | 分類・検索のキーワード参照のうえ、該当項目に○(複数選択可) A_環境配慮デザイン/B_省エネ・省CO2/C_各種制度活用/D_評価技術・FB/E_リニューアール/F_長寿命化 G_建物基本性能確保/H_生産・施工との連携/I_周辺・地域への配慮/J_生物多様性/K_その他 | | | |
| 主要な採用技術 | 分類・検索のキーワード参照のうえ、キーワードと()内には具体的な採用技術を記入(6項目まで) (例)LRL_2_自然エネルギー利用(太陽光発電) ①Q3.1 ビオトープの再生(自然池を創出しトンボ、メダカなどの水生小動物の野生空間を再生。) ②Q3.2 まちなみ・景観への配慮(地域に親まれていたサクラ並木を保全し、緑化計画に生かした。) ③Q3.3 地域性への配慮(かつて身近に見られ、子供達の自然あそびの場であった水辺空間の再生。) ④Z ビオトープの継続的な管理と住民の環境教育の一環として設計、施工、運営時に住民参加方式を採用した。 | | | |
| 環境配慮の概要 および 建物写真・等 | 環境配慮の概要について、簡潔な文章と写真等で説明 ① 都市化に伴い急速に失われつつある水辺空間の再生を図った。 ② トンボ、メダカなどの小動物とのふれあいの場を身近な住空間に設けた。 ③ 都市化により失われつつある生き物空間の再生により、均一な都市空間の生物多様性を高めた。 ④ 既存樹保全により緑量を確保し、建物圧迫感の軽減とまちなみへの配慮を行った。 | | | |
| |  竣工後7年目の自然池の様子(下流部) | |  自然池(上流部) | |
| |  住民参加によるメダカの放流の様子 | |  池の生き物を説明する住民手作りサイン | |
| 発注者 | 総合地所株式会社 | 敷地面積 | 20,339.35 m ² | |
| 設計・監理 | 株式会社 長谷エコーポレーション エンジニアリング事業部 (共同設計) | 延床面積 | 42,983.71 m ² | |
| | | 構造/階数 | SRC造, 1部RC造/地上14階 | |
| 施工 | 株式会社 長谷エコーポレーション | CASBEE | Oランク BEE=O. O | |
| 所在地 | 千葉県千葉市稲毛区小仲台 | ERR | OO % | |
| 竣工年 | 1999年 | LCCO2削減 | OO % | |

*建物名称、発注者、所在地 は、略称表記も可(例Aビル、B社、神奈川県C市)

サステナブル建築事例集 調査票

| | | | |
|--------------------------|---|---------|------------------------|
| 設計会社名 | 三井住友建設一級建築士事務所 | | 設計会社毎に記入(例)A社-01 |
| 建物名称 | ららぽーと柏の葉 | | No. 三井住友-02 |
| プロジェクト種別 | 該当項目に○ (新築) / 改修・保存 / まちづくり / 仮設建築 / 外構・景観 | | |
| 建物用途 | 該当項目に○(複数選択可) 事務所 / 研究所 / 美術館・博物館 / 学校 / 病院 / 工場・物流 / (物販) / (飲食) / ホテル / 集会場 / 集合住宅 / (その他) | | |
| 選定の観点 (カテゴリー) | 分類・検索のキーワード参照のうえ、該当項目に○(複数選択可) A 環境配慮デザイン / B 省エネ・省CO2 / C 各種制度活用 / D 評価技術・FB / E リニューアル / F 長寿命化 G 建物基本性能確保 / H 生産・施工との連携 / I 周辺・地域への配慮 / J 生物多様性 / K その他 | | |
| 主要な採用技術 | 分類・検索のキーワード参照のうえ、キーワードと()内には具体的な採用技術を記入(6項目まで) (例)LR1_2_自然エネルギー利用(太陽光発電) ①Q3_1 地域性・アメニティへの配慮(中庭、沿道の回廊) ②LR1_2_自然エネルギー利用(太陽光発電、風力発電) ③LR1_3_設備システムの高効率化(氷蓄熱(深夜電力による製氷)・NAS電池) ④LR3_1_地球温暖化への配慮(「環境・エネルギー優良建築物」マークの交付) | | |
| 環境配慮の概要 および 建物写真・等 | 環境配慮の概要について、簡潔な文章と写真等で説明 省エネルギー対応として、電力負荷平準化に効果がある氷蓄熱(深夜電力による製氷)・NAS電池を導入、太陽光発電設備・風力発電設備などの自然エネルギーの利用により、環境負荷低減を実現している。雨水は、地下の雨水貯留槽に貯められ駐車場壁面緑化の散水に使用されている。 また、室内環境水準を確保の上、省エネルギーに配慮された建築物であることが認められ、「環境・エネルギー優良建築物」マークを交付された。CASBEE 環境評価においては、国内商業施設初のSランクを取得した。また、第三者機関であるIBECにより「環境・エネルギー優良建築物」マークの交付を受けている。空調や照明への高効率機器を採用し、国が定める省エネルギー基準と比較し、20%以上の低減が可能であることが、省エネルギー計算書によって確認されている。 | | |
| |  | | |
| 発注者 | 三井不動産(株) | 敷地面積 | 41,654 m ² |
| 設計・監理 | 三井住友建設一級建築士事務所 | 延床面積 | 144,517 m ² |
| | | 構造/階数 | S造/地下1階、地上6階、塔屋1階 |
| | | CASBEE | Sランク BEE=3.2 (第三者認証) |
| 施工 | 三井住友建設 | PAL削減 | |
| 所在地 | 千葉県柏市 | ERR | |
| 竣工年 | 2006年 | LCCO2削減 | |

*建物名称、発注者、所在地は、略称表記も可(例Aビル、B、神奈川県C市)

サステナブル建築事例集
エントリー案件リスト

| 会社 No | 案件 No | 会社名 | 建物名称 | プロジェクト種別 | 建物用途 | | |
|----------|----------|----------|-------------------------------------|----------|---------|---------|----|
| 3 | 1 | 大林組 | 八重洲龍名館ビル | 新築 | 事務所 | ホテル | |
| 3 | 2 | 大林組 | 平和島トーセイビル | 新築 | 事務所 | | |
| 3 | 4 | 大林組 | ルポンドシエルビル(大林組旧本店ビル) | 改修・保存 | 事務所 | 学校 | 飲食 |
| 3 | 6 | 大林組 | 大阪梅田池銀ビル | 新築 | 事務所 | | |
| 3 | 7 | 大林組 | アートヴィレッジ大崎 | 新築 | 事務所 | 飲食 | |
| 3 | 8 | 大林組 | 電通本社ビル | 新築 | 事務所 | 飲食 | 物販 |
| 3 | 9 | 大林組 | オーク東京ビル | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 4 | 1 | 奥村組 | 奥村記念館 | 新築 | 事務所 | | |
| 5 | 1 | 鹿島建設 | 積水ハウス九段南ビル(きんでん本社ビル) | 新築 | 事務所 | | |
| 5 | 8 | 鹿島建設 | フジテレビ湾岸スタジオ | 新築 | 事務所 | その他 | |
| 7 | 1 | 鴻池組 | 日本山村硝子株式会社 尼崎新社屋 | 新築 | 事務所 | | |
| 7 | 3 | 鴻池組 | 京橋ヨツギビル | 新築 | 事務所 | 飲食 | |
| 7 | 5 | 鴻池組 | 株式会社ジェイ・ティ本社社屋 | 新築 | 事務所 | | |
| 10 | 2 | 清水建設 | 学習研究社 五反田新本社計画 | 新築 | 事務所 | | |
| 12 | 2 | 大成建設 | ノリタケの森 | 改修・保存 | 外構・景観 | 美術館・博物館 | 飲食 |
| 12 | 4 | 大成建設 | 大成札幌ビル | 新築 | 事務所 | 飲食 | |
| 12 | 6 | 大成建設 | 前川製作所新本社ビル | 新築 | 事務所 | | |
| 12 | 7 | 大成建設 | コンカード横浜 | 新築 | 事務所 | | |
| 12 | 9 | 大成建設 | 平河町森タワー(平河町二丁目東部南地区 第一種市街地再開発事業) | 新築 | 事務所 | 集合住宅 | |
| 12 | 10 | 大成建設 | HIROSHIMA BUSINESS TOWER | 新築 | 事務所 | | |
| 13 | 1 | 竹中工務店 | 日産自動車株式会社 グローバル本社 | 新築 | 事務所 | その他 | |
| 13 | 2 | 竹中工務店 | 竹中工務店東京本店新社屋 | 新築 | 事務所 | | |
| 13 | 8 | 竹中工務店 | ココロ東京ショールーム (5階 エコライブオフィス品川) | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 13 | 10 | 竹中工務店 | 明治生命館 保存・再生 | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 15 | 1 | 東急建設 | みちのくコカ・コーラボトリング(株)本社社屋 | 新築 | 事務所 | | |
| 15 | 4 | 東急建設 | (株)鳥羽洋行本社ビル | 新築 | 事務所 | | |
| 15 | 6 | 東急建設 | 品川サンケイビル | 新築 | 事務所 | | |
| 15 | 7 | 東急建設 | 三菱電機(株)中津川製作所B・Aプラザ | 新築 | 事務所 | | |
| 19 | 2 | 間組 | ホンダロック本社厚生棟 | 新築 | 事務所 | | |
| 19 | 3 | 間組 | (仮称)モリリン東日本橋ビル増改築計画 | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 21 | 2 | フジタ | 広島ガス第四ビル | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 22 | 1 | 前田建設工業 | ミスターマックス本部ビル | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 22 | 4 | 前田建設工業 | 新瓦町ビル | 改修・保存 | 事務所 | | |
| 7 | 2 | 鴻池組 | 日本伸縮管株式会社ニューロン・ラボ | 新築 | 研究所 | 工場・物流 | |
| 10 | 1 | 清水建設 | タクボエンジニアリング東金テクニカルセンター | 新築 | 研究所 | 工場・物流 | |
| 10 | 6 | 清水建設 | 清水建設技術研究所本館 | 新築 | 研究所 | | |
| 10 | 9 | 清水建設 | 清水建設技術研究所 風洞実験棟 | 新築 | 研究所 | | |
| 12 | 3 | 大成建設 | 味の素株式会社食品グローバル開発センター | 新築 | 研究所 | | |
| 12 | 5 | 大成建設 | 大成建設技術センター本館 | 改修・保存 | 研究所 | | |
| 13 | 5 | 竹中工務店 | アステラス製薬つくば研究センター(御幸が丘) 居室・厚生棟 | 新築 | 研究所 | 事務所 | |
| 3 | 10 | 大林組 | 六花の森プロジェクト | 外構・景観 | 美術館・博物館 | 工場・物流 | |
| 13 | 4 | 竹中工務店 | 佐川美術館 楽吉左衛門館 | 新築 | 美術館・博物館 | | |
| 1 | 2 | 青木あすなろ建設 | 市川市立稲越小学校 | 改修・保存 | 学校 | | |
| 5 | 9 | 鹿島建設 | 東京大学 駒場コミュニケーション・プラザ | 新築 | 学校 | | |
| 10 | 3 | 清水建設 | 晃華学園中学・高等学校 | 新築 | 学校 | | |
| 10 | 4 | 清水建設 | 慶應義塾大学日吉来往舎 | 新築 | 学校 | | |
| 10 | 10 | 清水建設 | 日本大学理工学部 駿河台校舎5号館(耐震改修) | 改修・保存 | 学校 | | |
| 12 | 8 | 大成建設 | 代々木ゼミナール本部校 代ゼミタワー オペリスク | 新築 | 学校 | 集合住宅 | |
| 13 | 7 | 竹中工務店 | プール学院中学校・高等学校 | 新築 | 学校 | | |
| 15 | 3 | 東急建設 | 古川市立南中学校PFI事業 | 新築 | 学校 | | |
| 15 | 5 | 東急建設 | 東京都市大学付属小学校 | 新築 | 学校 | | |
| 16 | 2 | 戸田建設 | 芝浦工業大学芝浦キャンパス | 新築 | 学校 | | |

| 会社 No | 案件 No | 会社名 | 建物名称 | プロジェクト種別 | | 建物用途 | |
|----------|----------|-----------|-------------------------------------|----------|-------|-------|-----|
| | | | | | | | |
| 18 | 3 | 西松建設 | 早稲田大学所沢キャンパス110号館 フロンティアリサーチセンター | 新築 | | 学校 | |
| 18 | 4 | 西松建設 | 桜美林学園以德館改修計画 | 改修・保存 | | 学校 | |
| 21 | 3 | フジタ | (仮称)ソウル日本人学校 | 新築 | | 学校 | |
| 22 | 3 | 前田建設工業 | 元京都市立滋野中学校 | 改修・保存 | | 学校 | |
| 6 | 1 | 熊谷組 | 医療法人社団親和会 衛藤病院 | 新築(増築) | | 病院 | |
| 10 | 5 | 清水建設 | 日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院 | 新築 | | 病院 | |
| 5 | 4 | 鹿島建設 | 虎屋 京都工場 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 5 | 5 | 鹿島建設 | 北日本新聞 創造の森 越中座 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 6 | 2 | 熊谷組 | ヤクハン製薬株式会社中央工場 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 16 | 1 | 戸田建設 | 会津オリンパス A棟 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 19 | 1 | 間組 | 大東物流センター西側倉庫建替え工事 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 21 | 1 | フジタ | プロロジスパーク尼崎 | 新築 | | 工場・物流 | |
| 21 | 5 | フジタ | プロロジスパーク座間 I | 新築 | | 工場・物流 | |
| 22 | 2 | 前田建設工業 | 株式会社エルモ社 本社棟および西工場 | 改修・保存 | | 工場・物流 | |
| 3 | 3 | 大林組 | イオンレイクタウン | 新築 | | 物販 | 飲食 |
| 3 | 5 | 大林組 | なんばパークス | 新築 | 外構・景観 | 物販 | 飲食 |
| 4 | 3 | 奥村組 | モラージュ菖蒲 | 新築 | | 物販 | 飲食 |
| 5 | 7 | 鹿島建設 | SMARK 伊勢崎 | 新築 | | 物販 | |
| 13 | 3 | 竹中工務店 | イオンモール草津 | 新築 | | 物販 | 飲食 |
| 15 | 2 | 東急建設 | 港北ニュータウン駐車場 (港北NT9-26街区建物) | 新築 | | 物販 | その他 |
| 16 | 3 | 戸田建設 | エミフル MASAKI | 新築 | | 物販 | |
| 18 | 2 | 西松建設 | 戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 共同ビル棟新築工事 | 新築 | | 物販 | 飲食 |
| 18 | 5 | 西松建設 | イオン綾川ショッピングセンター | 新築 | | 物販 | |
| 18 | 6 | 西松建設 | イオン東開町ショッピングセンター | 新築 | | 物販 | |
| 21 | 4 | フジタ | イオンモールむさし村山ミュー | 新築 | | 物販 | |
| 23 | 2 | 三井住友建設 | ららぽーと柏の葉 | 新築 | | 物販 | 飲食 |
| 23 | 3 | 三井住友建設 | ラスクエア四日市 | 改修・保存 | | 物販 | 飲食 |
| 7 | 4 | 鴻池組 | 本山東本願寺門信徒会館 慈光殿 | 新築 | | 集会場 | その他 |
| 1 | 1 | 青木あすなろ建設 | 葛飾区白鳥職員寮・敬老館 | 改修・保存 | | 集合住宅 | 集会場 |
| 4 | 2 | 奥村組 | 横浜日野社宅 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 5 | 2 | 鹿島建設 | 矢崎総業 Y-TOWN御殿場 | 新築 | | 集合住宅 | その他 |
| 5 | 3 | 鹿島建設 | 加賀レジデンス | 新築 | | 集合住宅 | |
| 6 | 3 | 熊谷組 | タイムズ・ピース・スクエア | 新築 | | 集合住宅 | |
| 10 | 8 | 清水建設 | 清水建設 白山寮 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 12 | 1 | 大成建設 | エコレッジ松戸 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 13 | 6 | 竹中工務店 | Villa Rondo | 新築 | | 集合住宅 | |
| 16 | 5 | 戸田建設 | ザ・リバープレイス コートアンドタワーズ | 新築 | 外構・景観 | 集合住宅 | |
| 20 | 1 | 長谷エコホーション | 深大寺レジデンス | 新築 | 外構・景観 | 集合住宅 | |
| 20 | 2 | 長谷エコホーション | フォレシウム | 新築 | | 集合住宅 | |
| 20 | 4 | 長谷エコホーション | ブランシエラ浦和 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 20 | 5 | 長谷エコホーション | ハウスソラーナ | 新築 | | 集合住宅 | |
| 20 | 6 | 長谷エコホーション | 川口市集合住宅 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 20 | 7 | 長谷エコホーション | アクア フォレスタ・ルネ稲毛 | 新築 | 外構・景観 | 集合住宅 | |
| 20 | 9 | 長谷エコホーション | セントプレイシティ | 新築 | | 集合住宅 | |
| 20 | 10 | 長谷エコホーション | グリーンラグーナ甲子園 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 23 | 1 | 三井住友建設 | ガーデンアリーナ新百合ヶ丘 | 新築 | | 集合住宅 | |
| 5 | 6 | 鹿島建設 | クリネックススタジアム宮城 | 改修・保存 | | その他 | |
| 5 | 10 | 鹿島建設 | SANYO SOLAR ARK | 新築 | | その他 | |
| 9 | 1 | 佐藤工業 | (仮称)S邸新築工事 | 新築 | | その他 | |
| 10 | 7 | 清水建設 | くろしおアリーナ | 新築 | | その他 | |
| 13 | 9 | 竹中工務店 | きらめきプラザ (岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館) | 改修・保存 | | その他 | |
| 16 | 4 | 戸田建設 | 富士山静岡空港旅客ターミナルビル | 新築 | | その他 | |
| 18 | 1 | 西松建設 | 葛飾清掃工場 | 改修・保存 | | その他 | |
| 20 | 3 | 長谷エコホーション | センチュリー北浦和 | 改修・保存 | | その他 | |
| 合計 | 106 | | | | | | |

合計106 事務所33／研究所7／美術館・博物館2／学校14、病院2／工場・物流8／物販13／集会場1／集合住宅18／その他8

I. プロジェクト種別：

新築 / 改修・保存 / まちづくり / 仮設建築 / 外構・景観

II. 建物用途：

事務所/研究所/美術館・博物館/学校/病院/工場・物流施設/物販/飲食/ホテル/集会場/集合住宅/その他

*基本的に省エネルギー法の用途分類に準拠し、補足的に改変・追加(研究所、美術館・博物館、物流施設、その他)

III. 選定の観点 (カテゴリー)

(解説)

| | |
|----------------|--|
| A 環境配慮デザイン | 要素技術に留まらず、建築と設備が昇華され建築作品としてアピールするもの |
| B 省エネ・省CO2技術 | ファサードエンジニアリングやエコシャフト等の建築的工夫に取り組んだもの。先進的な要素技術を採用したもの。CO2削減、PAL/CEC、CASBEEなどの性能値が特段に優秀なもの |
| C 各種制度活用 | 都の容積割増制度、総量規制対応、トップランナー事業所などに対応したもの。CO2推進モデル活用、省エネ改修推進事業などの支援制度を活用したもの。CASBEE第三者認証、その他表彰制度で認められたもの |
| D 評価技術・フィードバック | 性能の検証や評価、竣工後のCO2削減量の計測によるフィードバックなど、LCM的に取り組んだもの。工場の生産装置含めたCO2削減など、運用に踏み込んだ提案をおこなったもの |
| E リニューアル | 省エネ改修、耐震改修、免震改修、コンバージョンなどLCM的に取り組んだもの |
| F 長寿命化 | 地味ではあるが、維持管理面での工夫やBCP対応など、LCM的に取り組んだもの |
| G 建物基本性能確保 | ゲリラ豪雨、ハリケーン、北海道の梅雨など激変する気候変動への対応や、建築緑化の風対策、自然換気に起因する煙突効果への対策など、安易なエコで危うくなる建物基本性能の確保へ取り組んだもの |
| H 生産・施工との連携 | 設計施工一貫の持ち味をアピールするもの |
| I 周辺・地域への配慮 | ヒートアイランド対策や風害・光害抑制などに工学的に取り組んだもの。長期間にわたる開発や息の長いプロジェクト。土木との共同作業など |
| J 生物多様性 | 生物資源の保全や回復、生物多様性の観点から、広域の環境分析・立地性を踏まえた上で、緑の確保と質の向上、野生小動物の生息域の確保などに取り組んだもの |
| K その他 | 発注者を巻込んだ取組み、住民を巻込んだ取組み等設計プロセスに特色のあるもの、その他 |

IV. 主要な採用技術（分類はCASBEE中項目に準拠。CASBEE評価におけるスコア分布との整合性は求めない）

*CASBEE_Q1全てとQ2.1は、建物の基本的品質を表しているため、事例集のキーワードからは除外

(例)

| | | |
|-------|---------------|--|
| Q2.2 | 耐用性・信頼性 | <ul style="list-style-type: none"> ・超高強度コンクリート、ひび割れ防止コンクリート ・仕上材や設備の補修・更新間隔への配慮 ・設備の信頼性(BCP対応) |
| Q2.3 | 対応性・更新性 | <ul style="list-style-type: none"> ・荷重のゆとり(模様替・用途転換への配慮) ・スケルトン&インフィル ・メカニカルバルコニー ・設備の更新性(維持管理面での工夫) |
| Q3.1 | 生物環境の保全と創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・外構緑化、建築緑化 ・地域の郷土種への配慮 ・野生小動物の生息域の確保、ビオトープ ・建築緑化の風対策 |
| Q3.2 | まちなみ・景観への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・建物配置や形態のまちなみとの調和 ・地域性のある素材 ・歴史性の継承 ・新たなシンボルの形成 |
| Q3.3 | 地域性・アメニティへの配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・空間提供 ・豊かな中間領域の形成 ・建物利用者の設計への参加(コーポラティブハウスなど) ・暑熱対策、敷地内温熱環境の改善 |
| LR1.1 | 建物の熱負荷抑制 | <ul style="list-style-type: none"> ・PAL性能向上 ・高性能ガラス ・庇の深い外装 ・高气密、外断熱 |
| LR1.2 | 自然エネルギー利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコシャフト、ライトシェルフ ・自然換気、自然採光、地熱利用 ・太陽光発電、風力発電、バイオエネルギー |
| LR1.3 | 設備システムの高効率化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ERRの向上 ・氷蓄熱、タスク空調、デシカント空調、輻射冷房 ・LED照明、センサー制御 ・エコキュート、エネファーム、オール電化 |
| LR1.4 | 効率的運用 | <ul style="list-style-type: none"> ・BEMS ・CO2の計測 ・高度なシステム効率評価 |
| LR2.1 | 水資源保護 | <ul style="list-style-type: none"> ・節水型機器 ・雨水利用 ・雑排水利用 |
| LR2.2 | 非再生性資源の使用量削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存躯体の継続使用 ・躯体のPC化 ・グリーン調達品目、エコマーク商品 ・間伐材 |
| LR2.3 | 汚染物質含有材料の使用回避 | <ul style="list-style-type: none"> ・PRTR法対象物質の回避 ・フロン、ハロンの回避 |
| LR3.1 | 地球温暖化への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・LCCO2削減 |
| LR3.2 | 地域環境への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・建築緑化、日陰の形成、保水性・浸水性材料、高反射塗装 ・方位等に配慮した配置計画 ・交通負荷軽減 ・廃棄物処理 |
| LR3.3 | 周辺環境への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動、風害、光害抑制 ・土壌汚染対策 |
| Z | その他 | |

サステナブル建築事例集

事例シート作成要領

(全ページA3サイズでプリントアウトしてください)

下記の作成要領に沿って、事例シートの作成をお願いいたします。

■ 締切り:3月10(水)まで

■ 問合せ・提出先:社団法人 建築業協会 事業部 木瀬宛

e-mail : kise@bcs.or.jp 電話番号 : 03-3551-1118

1. 作成方針

各社で文書の校正、レイアウトを行ってください。基本的に担当部会、事務局による編集は行いません。但し、データベースとしての統一性の観点から、記載内容について事務局にて修正する場合があります。また、各社に訂正をお願いする場合がありますのでご容赦ください。

2. 記載事項……右図:事例シート作成例と記載事項を参照

- ①シート番号 :各社毎に記入、例:会社番号=001、会社番号は『設計部会構成会社番号リスト』を参照
- ②プロジェクト概要 :建物名称、発注者名、設計監理者名、施工者名を記入
- ③プロジェクト種別 :『分類・検索のキーワードⅠプロジェクト種別』より選択、複数選択可
- ④建物用途 :『分類・検索のキーワードⅡ建物用途』より選択、複数選択可
- ⑤カテゴリー :『分類・検索のキーワードⅢ選定の観点(カテゴリー)』より選択、複数選択可
- ⑥主要な採用技術 :『分類・検索のキーワードⅣ主要な採用技術』より選択、()内:具体的採用技術を記入
最大6項目まで。検索データベースを充実させるため、なるべく多く挙げてください。
- ⑦キャッチコピー :環境配慮上のコンセプトを記入
- ⑧説明文・写真・図面・解説図・等
- ⑨建物データ :所在地、竣工年、敷地面積、延床面積、構造、階数を記入
- ⑩省エネルギー性能:[任意記入] PAL 削減値、ERR 値(CASBEE 準拠)、LCCO2 削減値を記入
- ⑪CASBEE 評価 :[任意記入]ランキング、BEE 値、第三者認証/自治体提出/自己評価のいずれか記入、
CASBEE 評価シートからレーダーチャートを貼付
- ⑫設計担当者名 :[任意記入]説明本文中に記入

3. 公開方法

BCS ホームページ上に、データベースを公開します。

4. 掲載許可

公開に当たって、建物主や事業者、共同設計者、施工者、掲載写真の著作権者、関係者等の承諾が必要です。サステナブル建築事例集要項添付の「掲載許可依頼書」もご活用ください。(第1段階調査時配布)

